

令和8年度 「全国学力・学習状況調査」 結果について

南丹市立殿田中学校

1 調査の概要

(1) 実施日 令和8年4月23日(木)

(2) 調査内容

- ① 教科に関する調査 国語・数学・英語
- ② 質問調査 学習や生活に関する調査

(3) 目的

- ・義務教育の期間均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査結果

(1) 教科に関する調査

教科	国語	数学	英語
全国比較	同程度	同程度	同程度

全国の平均正答率比較

平均正答率比較の	— 1 0 — 5 + 5 + 1 0				
基準(%)	低い	やや低い	同程度	やや高い	高い

1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

(2) 質問調査(顕著なものを抜粋)

		1	2	3	4
(8)	自分には、よいところがあると思いますか	13 56.5 39.5 41.0	8 34.8 43.8 43.0	2 8.7 11.6 11.3	0 0.0 4.8 4.5
(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	15 65.2 43.5 46.7	7 30.4 46.8 44.2	1 4.3 6.7 6.4	0 0.0 2.6 2.3
(10)	将来の夢や目標を持っていますか	13 56.5 34.4 37.4	8 34.8 30.3 30.2	0 0.0 21.5 20.5	2 8.7 12.9 11.5
(11)	人が困っているときは、進んで助けていますか	17 73.9 35.2 40.8	4 17.4 53.7 50.0	2 8.7 8.6 7.4	0 0.0 1.3 1.2
(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	20 87.0 77.4 76.3	3 13.0 17.6 18.8	0 0.0 2.9 3.2	0 0.0 1.0 1.0
(60)	数学の勉強は得意ですか	4 17.4 20.6 21.7	9 39.1 27.6 26.8	8 34.8 27.9 27.9	2 8.7 23.6 23.2
(61)	数学の勉強は好きですか	9 39.1 25.1 23.8	5 21.7 27.2 27.3	8 34.8 24.9 23.8	1 4.3 22.4 19.8
(62)	数学の授業の内容はよく分かりますか	10 43.5 32.7 34.8	10 43.5 41.5 39.8	3 13.0 17.2 17.6	0 0.0 7.8 7.7

上から
解答人数
殿中の割合
京都府の割合
全国の割合

3 調査結果を受けて

(1) 国語

- ・文法事項に関わる理解は全体的に高いです。昨年度に年間を通して学習してきた成果が一定見られます。無解答の割合が全国平均に比べて少なく、テストへの意欲が感じられます。
- ・作文能力に課題が見られます。漢字の誤字、主述のねじれ、一文の長さが気になります。また、2つの条件を提示された際、1つを落とす生徒が多いです。内容を論理的にまとめる力も不足していると考えられます。
- ・今後の重点として、条件を意識した作文を書かせることや、漢字練習、テストを継続して頻繁に行い、繰り返しの学習を心掛けます。

(2) 数学

- ・問題形式や評価の観点によらず、正答率は全国と同等で、相応の学力が身についています。
- ・図形分野においては、性質への理解度はそれほど高くなく、性質の活用方法、用語と図形のつながりの弱さが見られます。
- ・今後、図形分野、関数分野においては、苦手とする生徒が多いことも認識した上で、基礎の定着と活用の仕方をバランス良く取り入れ、具体的な事象を通じて、数学的思考を深められるように配慮します。

(3) 英語

- ・書く力については、昨日の出来事など、書き慣れた内容の英文を書くことはできるが、自分の意見を理由付けして人に伝える力は弱いと考えられます。色々なテーマで自分の意見を持ち、表現する練習を重ねます。
- ・聞く力については、聞くポイントが一つに限られていたらよく聞き取れるが、複数の情報を組み合わせて答えることに弱さが見られます。少し複雑な内容の聞き取りを取り入れていきます。
- ・読む力については、友だちからのメッセージを読み取り、その内容に合ったウェブサイトを答えるなど、内容の理解度を形を変えて問いかけられることに弱さが見られます。自分でイメージを作りながら英文を読む力をつけたいです。

(4) 質問調査

- ・「自分にはよいところがあると思う」「いじめはいけないことだと思う」等、自他を尊重する項目において、「当てはまる」と回答した生徒が全国と比較して多いです。基盤となる家庭や地域の関わりの高さが感じられます。
- ・「数学が好き」「よく分かる」という項目に「当てはまる」と回答した生徒は全国平均と比較して顕著に多いが、「得意か」という項目に「当てはまる」と回答した生徒は、割合が下がります。これは、英語や国語でも見られます。
- ・これらから、今後も家庭と地域と連携しながら、人権意識についてはさらに育んでいきたいところです。
- ・学習については、授業内では「分かった」という実感を感じつつも、定着しておらず、点数等に結びつかないから、「得意」と感じられないことが考えられます。

4 学力向上の取組と今後について

- ・学習の基盤となる「安全・安心な学校づくり」を引き続き、家庭や地域と連携しながら、維持・発展させていきたいところです。現在取り組んでいるファイル学習でのやり取りや、学習ブースの積極的な利用に加え、様々なアンケート結果の分析や普段の観察から見えてきた、本校の次のステップである、さらに「学習を定着させる段階」へと取組を進めていきたいです。具体的には、「新しい知識を、すでに知っていることと結びつけること」「理由や具体例を自分の言葉で考え直すこと」等です。こうした力を伸ばし、学習が定着するように、教員同士の参観の視点を明確にした授業参観シート等を活用しながら、さらに授業改善に取り組んでいきます。